

横浜地本・八王子地本合同 情報づくり研修開催

2025年11月16日、横浜地本・八王子地本合同の「情報づくり研修」を開催し、横浜支部より鴨志田総務・情宣部長と相模原運輸区分会より山岸執行委員が参加しました。

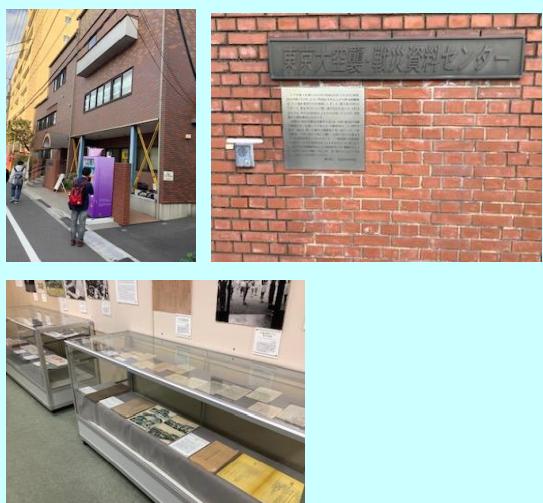
今回は東京都江東区夢の島にある「都立第五福竜丸展示館」と「東京大空襲・戦災資料センター」の見学と参加者との意見交換を行いました。

都立第五福竜丸展示館



昭和29年（1954年）3月1日、太平洋のマーシャル諸島にあるビキニ環礁で行われた水爆実験によって23名の乗組員が放射能を浴び、被ばくの被害に遭った。その後第五福竜丸は廃船処分となり、夢の島に捨てられていたことを知った市民が保存運動の取り組みが全国で行われ、1976年に東京都により展示館が建てられた。

東京大空襲・戦災資料センター



昭和20年（1945年）3月10日に発生した東京大空襲を語り継ぎ学びあう施設として、「東京空襲を記録する会」が民間募金を呼びかけ、2002年に開館した施設。館内には、「記録する会」が収集した空襲・戦災に関する資料や証言などが展示されている。また東京大空襲を経験した方が語り部として講演会なども行われており、東京大空襲をはじめとする空襲や戦争による民間人の被害を明らかにしていくことで、戦争の惨禍を二度と繰り返さず、平和な世界を築くことを願って建てられた。

戦後80年、今こそ平和の大切さと
命の尊さをみんなで考えよう！